

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減措置事業			担当部局庁	老健局		作成責任者		
事業開始年度	平成12年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	介護保険計画課		介護保険計画課長 竹林 悟史		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の実施について				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	低所得者に対する介護保険サービスの利用者負担額の軽減を支援することにより、低所得者の介護保険サービスの利用促進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会福祉法人が法人の持ち出しにより低所得者について介護保険サービスの利用者負担額の軽減を行った場合等に、当該費用の一部について補助を行う。								
実施方法	補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	896	685	506	506	506		
	執行額	639	618	609					
	執行率(%)	71%	90%	120%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	全保険者において実施することを目標	社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担軽減制度事業を実施する保険者数	成果実績	保険者数	1,143	1,148	1,140	-	-
			目標値	保険者数	1,580	1,579	1,579	-	1,579
			達成度	%	72	73	72	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減制度事業の軽減対象者数	活動実績	件	47,522	45,793	44,494	-		
		当初見込み	-	-	-	-	49,576		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	「執行額」/「軽減対象者数」	単位当たりコスト	百万円	13	13	13	10		
		計算式	X/Y		621百万円/47,522	601百万円/45,793	591百万円/44,494	480百万円/49,576	
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	介護保険事業費補助金	506	506						
	計	506	506						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	基本目標区 高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること							
		施策大目標3 高齢者の健康づくり・生きがいを推進するとともに、介護保険制度の適切な運営等を通じて、介護を必要とする高齢者への支援を図ること							
	施策	介護保険制度の適切な運営を図るとともに、質・量両面にわたり介護サービス基盤の整備を図ること(施策目標区-3-2)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減を支援することにより、低所得であっても必要な介護サービスを利用しながら安心して生活し、要介護高齢者等の自立の推進が図られる。								
	改革項目	分野:	-	-					
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
成果実績		-	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-	-	
達成度		%	-	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業は低所得者に対する軽減制度を行っており、それらはきわめて重要で、ニーズがあり、国費を投入する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は市町村が行う事業を補助する事業であり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業では低所得者に対する軽減制度を行っており、きわめて重要で優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
		一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	低所得者が介護サービスを受ける際の利用者負担額を減らすためのものであり、妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付要綱にて、各事業ごとに対象経費が定められている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果目標において、達成目標に向けて着実に数を伸ばしている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	ほぼ見込みに近い活動実績となっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度事業については、実施自治体数が増加している。			
	改善の方向性	実施自治体数は増加しており、本事業は社会福祉事業の実施を任務としている社会福祉法人が低所得者の介護保険サービスの利用促進の観点から利用者負担軽減を促進することを目的とし、その趣旨を踏まえると、すべての地域において低所得者が介護保険サービスを利用できるよう体制を整備することは重要であり、本事業の必要性は明確である。今後も施策のさらなる推進を図ることとする。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	点検結果は妥当であり、低所得者が介護保険サービスを利用できるよう体制を整備するために必要な事業であることから、引き続き必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	539	平成23年度	491	平成24年度	435
平成25年度	822	平成26年度	823	平成27年度	834

